

脳 卒 中 投 稿 規 定

2020年9月24日 改訂

■編集方針

1. 本誌の目的

本誌は脳卒中の分野における最新の情報や技術を提供・共有することを目的とする。

2. 投稿資格

会員・非会員を問わず投稿を受け付けるが、著者に1名以上の会員が含まれることとする。

3. 論文種別

脳卒中研究の発展に貢献しうるオリジナリティーに富んだ論文を歓迎する。原著、総説、症例報告、短報、レター等とし、他誌に掲載されていないものとする。なお、Editorial、生涯教育講座、専門医受験講座、ガイドライン、臨床マニュアル、学会の指針・手引き・推奨、EBM 文献紹介、関連エッセイなども投稿可能である。

4. 投稿の言語

日本語で書かれた論文を受け付ける。欧文の原稿は原則として受け付けない。ただし、外国人の原稿の場合は必ずしもこの限りではない。

5. 論文審査

審査はシングルブラインドで行う。投稿論文の採否は編集委員会で決定する。必要に応じて原稿の一部改正、訂正または削除を求めることもある。

6. 著作権

著者全員が以下の諸項を確認した上で、投稿論文の著作権(著作権法第27条、同第28条に定める権利を含む)は日本脳卒中学会へ譲渡される。著者の同意確認は、日本脳卒中学会のホームページ <http://www.jsts.gr.jp/jss23b.html> から「投稿承諾書兼 COI 登録状況報告書」【様式 1】をダウンロードし著者全員が署名の上 PDF に変換し、論文投稿時に論文ファイルと一緒に提出する。また、論文投稿完了時に、オンライン投稿査読システムから著者全員に投稿確認メールが送信されるので各々必ず確認すること。

- 1) 投稿論文は過去に他の出版物に公開されたことがなく、公開予定もないことが必須条件である。
- 2) 投稿論文が他の著作物を侵害していないこと。論文・記事中において転載許諾が必要な部分については、その許諾を得ていること。
- 3) 投稿論文の内容について本質的な貢献を行った人はすべて著者に含まれていること。
- 4) 該当論文の内容の公開について、必要な場合は所属機関のしかるべき権限を有する人の同意を得ていること。

7. 倫理方針

当学会の「人を対象とした研究の学会発表や論文投稿における倫理指針」に該当し施設における倫理委員会の承認を必要とする論文については、投稿時にその

承認書等のコピーを添付し、提出する。

また、承認番号と承認日を論文内の「方法」に記載する。

詳細は、当学会ホームページに掲載されている指針等を熟読のうえ、投稿者の論文内容がこれらに則っているか否かを、自身でよく確認してから投稿することとする。

・人を対象とした研究の学会発表や論文投稿における倫理指針

http://www.jsts.gr.jp/img/rinri_sisin.pdf

・Q&A

http://www.jsts.gr.jp/img/rinri_sisin_qa.pdf

・人を対象とした研究の学会発表や論文投稿における倫理指針チェックリストについて

http://www.jsts.gr.jp/img/about_checklist.pdf

・チェックリスト

<http://www.jsts.gr.jp/img/checklist.pdf>

8. 患者の同意

症例報告については、患者の同意を得ている旨を「症例」のパートの最後に記載することとする。また、患者のプライバシー保護については、当学会ホームページに掲載されている下記の指針を熟読の上、投稿者の論文内容がこれに則っていることを確認してから投稿することとする。

【症例報告を含む医学論文及び学会発表における患者プライバシー保護に関する指針】

http://www.jsts.gr.jp/img/privacy_sisin.pdf

9. 利益相反

1) 開示基準

投稿論文の内容に関して、日本脳卒中学会が定めた「医学系研究の COI に関する指針」および「医学系研究の COI に関する細則」に従い、原則として全ての投稿論文について、著者全員の COI 状態を自己申告すること。対象期間は過去3年間(開示すべき内容などの詳細は、学会 HP の「医学系研究の COI に関する細則」http://www.jsts.gr.jp/about/coi_bylaws.htmlを確認すること)。

(開示基準)

A. 著者自身の申告事項

役員・顧問職 100万円以上

株式 利益 100万円以上又は全株式の5%以上保有

特許使用料 100万円以上

日当・講演料など 100万円以上

原稿料など 50万円以上

研究費・奨学寄附金 200万円以上

受託研究費・研究助成費 1,000万円以上

寄付講座 200万円以上(1企業)

2) 開示の方法

利益相反の開示は、①論文への記載、②利益相反開示書の提出、の両方を行う。

①論文への記載：下記の記載例に従って、論文中の本文の最後に、申告した利益相反関係の有無を必ず明記する。開示すべきCOIがある場合については、開示すべき利益相反関係を明確に記載すること。

(開示すべきCOIがない場合の記載例)

「著者は日本脳卒中学会へのCOI自己申告を完了しており、本論文の発表に関して、開示すべきCOIはない」

(開示すべきCOIがある場合の記載例)

「著者は日本脳卒中学会へのCOI自己申告を完了しており、本論文の発表に関して、著者が開示すべきCOIは以下のとおりである

- ・対象期間：過去3年間
- ・申告者氏名：○○○○
- ・株の利益：○○会社よりあり。
- ・特許権使用料：○○会社よりあり。
- ・日当(講演料)：○○会社よりあり。
- ・原稿料：○○会社よりあり。
- ・研究費：○○会社よりあり。
- ・奨学寄附金(奨励寄附金)：○○会社よりあり。
- ・受託研究費、研究助成金：○○団体より○○

費、出資は○○会社よりあり。

- ・寄付講座：○○寄付講座は、○○会社の寄附金支援あり。

②利益相反開示書の提出：

(著者が会員の場合)

- ・日本脳卒中学会のホームページの会員専用ページからオンライン登録する。

(著者が非会員の場合)

開示書はジャーナルHPの機関紙案内「脳卒中誌」ページ上からダウンロードできる。

「投稿承諾書兼COI登録状況報告書」と「COI自己申告書」の両方を提出する。筆頭著者または連絡著者が全員の利益相反をまとめ、論文投稿時に論文ファイルと一緒に提出する。

10. ランダム化比較試験

ランダム化比較試験(randomized controlled trial：RCT)の論文の場合は、改訂版CONSORT声明(The revised CONSORT statement for reporting randomized trials: explanation and elaboration. Annals of Internal Medicine 2001; 134(8): 663-694)に準じることとし、RCTでは臨床研究の事前登録(UMIN等)がない場合は掲載されない。

11. 転載許諾

著者が他誌から図表等の転載をする場合には、著者自身で必ず転許諾をとることとする。

5) Movie：MPEGを推奨(5ファイルまで、総時間5分以内)

- ・動画ファイルはオンラインジャーナル用のみのため、誌面掲載用として動画ファイルに相当する関連画像も必ずアップロードすること。写真は目的の所見が十分に確認できる解像度のJPEGファイルとして提出する。

15. 書式

WordのA4判で、フォントサイズは10~11ポイント、1行の文字数30字、1枚の行数24行、余白は前後左右を各々30mmとし、ページ番号および行番号をつける。

16. 英文校正

原則、英文要旨は、予め医学論文の校正を専門とするnative speakerによる校正を必ず受けること。

17. 数字・単位

数字は算用数字を用い、単位はCGS単位で、m, cm, mm, cm², l, dl, ml, kg, gm, mgなどを用いる。

18. 略語

題名、key words、要旨、本文の各パートにおいて、初出の英単語は略さずスペルアウトし、2回目以降は略語とする。図表の説明には、それぞれの図表について略語の定義を記載する。以下の略語は慣用語としてスペルアウトせず略語を用いることを認める。CT, CBF, CEA, DOAC, DSA, DWI, ICA, IC-PA, JCS, NIHSS, MCA, MRI, mRS, NASCET, PET, rt-PA, SAH, VA。

■投稿の様式

12. 投稿の方法

投稿はすべてオンライン投稿査読システムで受け付ける。

<https://www.editorialmanager.com/jstroke/>

再投稿は、査読者への回答として前回の各査読コメントに対して一つ一つ回答し、本文の修正箇所を、段落、行番号、ページ番号等で明示する。本文の修正箇所は、アンダーライン、カラーフォントなどでハイライトすること。紛失事故などに対処するため、提出論文の電子化ファイルは必ず手もとに保存すること。

13. 投稿承諾書兼COI登録状況報告書

投稿承諾書兼COI登録状況報告書【様式1】は、著者全員が署名の上、PDFファイルにし、論文ファイルと一緒に提出する。

投稿承諾書兼COI登録状況報告書は、1枚に全員が記入しなくてもよい(複数枚可)。

投稿承諾書兼COI登録状況報告書【様式1】は、日本脳卒中学会ホームページ <http://www.jsts.gr.jp/img/youshiki01.pdf> からダウンロードして使用すること。

14. 原稿ファイル

投稿時には論文ファイルを下記のフォーマットでアップロードする。

- 1) タイトルページ：Word
- 2) 本文(要旨~図表の説明)：Word
- 3) Table：Word, Excel, Power Point(テキストボックス、画像データの貼付は不可)
- 4) Figure：Word, Excel, Power Point, JPEG

19. 固有名詞表記

外国語の固有名詞(人名, 地名)は原語のまま用いる。ただし, 日本語化しているものはなるべくカタカナとする。商標, 薬品名, その他の固有名詞の頭文字は大文字とするが, 文中の外国語単語(病名, その他)の頭文字は, ドイツ語名詞を除きすべて小文字とする。

20. 用語

用語については, 日本医学会の用語集を参照し, その基準に準拠することとする。「頸」と「頰」の漢字使用については, 論文内で統一して使用していればどち

らの漢字を使用してもよい。

21. デバイス表記

カテーテル, コイルなどのデバイスは, 論文中の初出時に発売元を記載する。デバイスの初出時に発売元を記載するため, デバイス名に“TM”や“®”を記載する必要はない。別掲の表記例を参考にすること。

(例)ED コイル-10(カネカメディックス, 大阪)

→企業名, 所在都道府県名

GDC Ultrasoft (Stryker, Kalamazoo, MI, USA)

→企業名, 都市名, 州名, 国名

■論文の構成

22. タイトルページ

下記の項目すべての記載を必須とする。

- 1) 論文種別
- 2) 論文タイトル
- 3) 全員の著者名
- 4) 著者全員の所属施設・部署(論文執筆時の所属)
- 5) 連絡著者の氏名・連絡先(所属施設/部署名, 住所, 電話番号, メールアドレス)
- 6) 上記1)~4)の英語表記
- 7) ランニングタイトル(日本語で30字以内, または英語で60字以内)
- 8) キーワード 3~5個(英語小文字)

23. 論文の基本構成

和文要旨→英文要旨→本文→(謝辞)→利益相反開示→文献→図表の説明, の順に構成すること。MS Word形式で作成し, 通しページ番号および行番号をつけること。

24. 論文種別による執筆要綱

論文の区分と長さは以下の通りとし, 語数には文献および図表は含まない。

※規定の長さを超過している論文は原則として投稿受付しない。また論文の長さの文字数, 刷上がり頁は目安であり, 実際の刷上り頁数が目安を超過した場合は超過ページ料金を著者が負担すること。

| | |
|--------------------------|---|
| 原著 | 独創性に富み目的, 結論等の明確な研究論文 |
| 語数 | 8,000字以内(刷上り7ページ) |
| 和文要旨 | 400字以内, 構造化(背景および目的, 方法, 結果, 結論の見出しをつける) |
| 英文要旨 | 250語以内, 構造化(Background and Purpose, Methods, Results, Conclusionの見出しをつける) |
| 論文構成 | 「和文要旨」「英文要旨」「緒言」「対象と方法」「結果」「考察」「結語」(謝辞)「利益相反開示」「文献」「図表の説明」 |
| 文献 | 30本以内 |
| 図表 | 8個以内 |
| 症例報告 | 脳卒中に関連した興味深い症例 |
| 語数 | 6,000字以内(刷上り5ページ) |
| 和文要旨 | 400字以内 |
| 英文要旨 | 250語以内 |
| 論文構成 | 「和文要旨」「英文要旨」「緒言」「症例呈示」「考察」「結語」(謝辞)「利益相反開示」「文献」「図表の説明」 |
| 文献 | 20本以内 |
| 図表 | 6個以内 |
| ガイドライン・指針・臨床マニュアル | |
| 語数 | 10,000字以内(文献, 図表等を全て含む) |
| 論文構成 | 形式は問わない, 本文の後に「利益相反開示」「文献」は必須 |
| 短報 | |
| 語数 | 2,400字以内(刷上り2ページ) |
| 和文要旨 | 400字以内 |
| 英文要旨 | 250語以内 |
| 論文構成 | 形式は問わない, 本文の後に「利益相反開示」「文献」は必須。 |
| 文献 | 10本以内 |
| 図表 | 2個以内 |

| | |
|------------------|-------------------------------|
| レター | |
| 語数 | 800 字以内 |
| 論文構成 | 形式は問わない。本文の後に「利益相反開示」「文献」は必須。 |
| 文献 | 3 個以内 |
| 図表 | 1 個以内 |
| 総説 | 編集委員会から執筆を依頼することもある |
| 語数 | 10,000 字以内 |
| 和文要旨 | 400 字以内。形式は問わない。 |
| 英文要旨 | 250 語以内。形式は問わない。 |
| 論文構成 | 形式は問わない。本文の後に「利益相反開示」「文献」は必須。 |
| 文献 | 40 本以内 |
| 図表 | 8 個以内 |
| Editorial | |
| 語数 | 1,200 字以内 |
| 和文要旨 | なくても可 |
| 英文要旨 | なくても可 |
| 論文構成 | 形式は問わない。本文の後に「利益相反開示」「文献」は必須。 |
| 文献 | 10 本以内 |
| 図表 | 3 個以内 |
| エッセイ | |
| 語数 | 1,600 字以内 |
| 和文要旨 | なくても可 |
| 英文要旨 | なくても可 |
| 論文構成 | 形式は問わない。本文の後に「利益相反開示」は必須。 |
| 文献 | 10 本以内 |
| 図表 | 3 個以内 |

25. 謝辞

著者の資格を満たさないが、研究に何らかの貢献をした者は「謝辞」に記載する。

26. 利益相反開示

論文中の本文の最後に、申告した利益相反関係の有無を必ず明記すること。また、開示すべき COI がある場合については、開示すべき利益相反関係を明記すること。

記載方法については、9. 利益相反 2) 開示の方法を参照すること。

27. 文献

本文に用いられたもののみをあげ、引用番号は本文の引用順とする。引用文献は必要欠くべからざるものにとどめること。数は、本規定の「25. 論文種別による執筆要綱」を確認すること。本文中の引用文献は、片括弧で superscript(上付き)の形式にする。著者は 3 名までは全員を、4 名以上の場合は 3 名までを記載し、他はらや et al. とする。また、単行本の場合は編者の名を記入する。オンラインジャーナルのみで発表されている文献については、doi(Digital Object Identifier)を記載する。誌名は、Index Medicus による略語を使用すること。

〈雑誌の場合〉著者名：論文題名。雑誌略名 巻：引用ページ初-終。発行年(西暦)

〈著書の場合〉著者名：書名。発行地、発行所、発行

年(西暦)、引用ページ初-終

(例)

- 1) 山田実貴人, 山田法顕, 豊田泉ら: Off-the-job training としての脳卒中初期診療(ISLS) コース開催の経験. 脳卒中 31: 1-9, 2009
- 2) 中川原譲二: 院内 LAN による継続入力システムとデータ汎用, 小林祥泰監修: 脳卒中データバンク 2009. 東京, 中山書店, 2009, pp 184-186
- 3) Yoshimura S, Toyoda K, Ohara T, et al.: Takotsubo cardiomyopathy in acute ischemic stroke. Ann Neurol 64: 547-554, 2008
- 4) Yamamoto H, Matsumoto M, Hashikawa K, et al.: Stroke onset and courses. In bogousslavsky J, Caplan L (eds): Stroke syndromes, Cambridge, Cambridge University Press, 2001, pp 3-7
- 5) 日本脳卒中学会, 日本脳神経外科学会, 日本脳神経血管内治療学会: 経皮経管的脳血栓回収用機器適正使用指針 第2版. http://jsnet.website/sozai/info-shonin/150402noukessenn_shishin.pdf (アクセス日: 2016 年 12 月 10 日)

28. 図表の説明

図表の説明は 50 字以内とし、文献リストの後にまとめて記載する。図表の説明に略語を使用した場合は、個々の図表の説明にその内容をスペルアウトして明示する。組織標本には染色法と倍率をつける。

29. 図表

- 1) 図表番号：表は Table 1, Table 2…, 図は Fig. 1, Fig. 2…と番号をふる。本文中では、すべての図表を図表番号順に引用すること。
- 2) 表：Word, Excel, Power Point で作成し、1 個につき一つのファイルで保存する。表番号を Table 1 のようにつけて、タイトルを表の上に記載する。
- 3) 図：Word, Excel, Power Point, JPEG で作成し、

1 個につき一つのファイルで保存する。図番号を Fig. 1 のようにつけて、タイトルを図の上に記載する。解像度は、画像の場合、300 dpi 以上、描画された図の場合には、1200 dpi 以上とする。サイズはキャビネ版以上(127×178 mm)で作成する。組織標本には染色法と倍率をつける。

- 4) 著者が他誌から図表等の転載をする場合には、著者自身で必ず転載許諾をとることとする。

■制作と掲載料

30. 著者校正

著者校正は 1 回とする。著者校正時に下記の「32. 掲載料」に関する料金について確認を行う。

31. 掲載料

- 1) 掲載料は規定以内のものでは徴収しない。
各種論文規定ページ数, 規定図表数

| 論文種別 | ページ数 | 図表数 |
|-----------|-------|-----|
| 総説 | — | 8 |
| 原著 | 7 頁まで | 8 |
| 症例報告・事例報告 | 5 頁まで | 6 |
| 短報 | 2 頁まで | 2 |
| レター | — | 1 |

- 2) 超過ページ料金：組版の結果、規定の刷り上がりページ数を超過した場合は、超過 1 ページあたり

8,000 円を著者の負担とする。図表の超過の分は 1 個につき 2,000 円を著者の負担とする。

- 3) カラー印刷料金：カラー図表は、オンラインでは無料掲載とする。印刷もカラーを希望する場合は実費を著者の負担とする。カラー 1 頁 65,000 円。
- 4) 別刷：別刷を希望する場合は、著者校正時に 50 部単位で注文を受け付ける。但し、別刷は商業的な目的に使用しないこと。

| | |
|--------------|------------|
| 50 部 | 50 円×頁数×部数 |
| 100 部, 150 部 | 40 円×頁数×部数 |
| 200 部以上 | 30 円×頁数×部数 |

- 5) 特急掲載：至急掲載を希望する場合には、特急掲載料 100,000 円を徴収する。

問合せ先：脳卒中誌 編集室

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-8-21 虎ノ門 33 森ビル 7F

株式会社メディカルトリビューン 学術編集部

TEL 03-6841-4542, FAX 03-6841-4560

Email : jstroke@medical-tribune.co.jp

附則

一般社団法人日本脳卒中学会「医学系研究の COI(利益相反)に関する指針」および「医学系研究の COI(利益相反)に関する細則」の施行に伴い、関連条項について、

平成 26 年 1 月 1 日改定。

平成 27 年 1 月 1 日再改定。

平成 28 年 5 月 1 日再改定。

平成 29 年 11 月 4 日再改定。

平成 30 年 3 月 5 日再改定。

一般社団法人日本脳卒中学会「人を対象とした研究の学会発表や論文投稿における倫理指針」、「症例報告を含む医学論文及び学会発表における患者プライバシー保護に関する指針」の施行に伴い、関連条項について、

平成 31 年 3 月 20 日改定。

令和 2 年 8 月 28 日再改定。